

第23回 日本動物児童文学賞の受賞者及び入賞作品

第23回 日本動物児童文学賞には、89作品の応募があり、児童文学関係学識経験者（池川禎昭（現代日本少年文学の会主宰））による第1次審査を経て、動物福祉・愛護関係学識経験者（木村芳之（日本獣医師会理事、動物福祉・愛護部会長）、会田保彦（日本動物愛護協会理事）、齋藤 勝（日本動物福祉協会副理事長）、椎野雅博（日本愛玩動物協会副会長）、須田沖夫（東京都家庭動物愛護協会会長））や関係省庁関係者（西山理行（環境省自然環境局総務課動物愛護管理室長）、田中孝一（文部科学省初等中等教育局主任視学官））等からなる第2次審査委員会を8月8日開催し、下記のとおり入賞作品として、大賞1作品、優秀賞2作品、奨励賞5作品が選定された（表彰式の模様は本誌851頁参照）。

入 賞 作 品

【日本動物児童文学奨励賞】

【日本動物児童文学大賞】

「雨上がりの晴れた空」 加藤英津子（愛知県）

〈受賞理由〉移転で飼えなくなった友人の愛犬を預かった少年の戸惑いと体験が巧みに表現されている。日常どこにでもあり得るストーリーだけに身近に感じられる。犬を通じて、友情、飼育責任、兄弟愛が描かれ、読後感もさわやかである。人と動物のふれあい、動物の福祉・愛護、児童の健全な育成、豊かな人間性の涵養等の観点から最も優れた作品であると認められた。

【日本動物児童文学優秀賞】

「サザナミのゆめ」 彩波^{いろは}さだこ（東京都）

〈受賞理由〉島の旅館の馬を通じて、都会から来た心に傷を持つ少年が元気を取り戻す様子が描かれている。絶滅の危機にある日本古来の在来種「野間馬」とあたかも姉妹のように暮らす少女が素晴らしい。馬の水の飲みっぷり、草を食む様も克明であり、島の風景の描写も美しい。都会の大人にも子供達にも、こんな経験を是非してもらいたい。忘れかけている大切な事に気付く筈である。

動物とのふれあいの楽しさ、動物が人に与えてくれる元気等が、うまく表現されている。

「二匹のムサシ」 石川 純子（兵庫県）

〈受賞理由〉過去の反省（後悔）から動物を飼わなかった（飼わせなかった）頑固な祖父が、過去をきちんと伝えて、孫が犬を飼うことを許し、犬を介して親子三世代が一緒になる様や、周辺の人々のあたたかいふれあいの様子が良く描かれている微笑ましい作品。時代は違っても動物の命としっかり向き合い、祖父と孫を通して家庭犬を飼う責任が描かれている。

頑固な祖父を孫が口説いて犬を飼うまでの描写も面白い。

【心目の目】 工藤 洋一（青森県）

〈受賞理由〉肉牛生産農家の家族の一員として、温かく見守られ育てられる牛を中心にした生活振り、家族の絆、畜産農家の喜びと苦勞、常に辛い別れに直面する現実等、よく描かれている。

特に目の見えない子牛を育てるために、家族が心の目になるプロセス、やがて成牛となって子牛を出産する様は、秀逸である。

お肉を食べること、命をいただくこと、その生産家族の様子や牛への思い、「農家の家族の繋がり」と「家畜（いずれは食する「肉牛」）とは何か（ペットとは異なる、育てる側の愛情）」がよく伝わる作品である。

「さくら」 堂前 美紀（石川県）

〈受賞理由〉保健所へ連れていかれそうになった黒ラブラドル「さくら」を飼うことになった少年の目を通して、飼えなくなった犬の将来、子供の成長、獣医師の仕事、動物愛護精神に理解のある両親、社会の様々な問題等、読者に知って欲しいテーマ等がそれぞれうまくストーリーの中で展開しており、子供達にもとてもわかりやすく描かれている。

動物病院の獣医師の心温まる言葉もメッセージとして効果的であり、読者をうれしい気持ちにさせてくれる作品である。

「クロちゃんのくれたもの」 叶 昌彦（千葉県）

〈受賞理由〉軽い認知症のおじいさんと黒い捨て猫の交流が味わい深く、猫からももらった生きがい、少女とのふれあい、動物を飼う楽しさが優しく描かれている。

おじいさんの死後も、残された猫がおばあさんにとっての希望として、動物が人に与える力がうまく表現されている。

「ぼくとコラの物語」 小川まゆみ（福岡県）

〈受賞理由〉引っ込み思案な内向的な少年が、突然家族の一員となった犬を通じて友達もでき、外に出て明るく積極的になっていく。人の痛みもわかる大人に成長する姿、親から子へ動物愛護の理念がうまく伝わっていくさま等がうまく描かれている。

「『虹の橋』で会えるまで」 藤井 弘子 (広島県)

〈受賞理由〉捨て犬と優しい子供の関わりを通して、犬・ねこの致死処分減少をめざしている動物愛護センターの紹介等、現代社会の飼育動物を取り巻く問題が記されている。

捨てた人が、何とも思っていないのに、保護してあげた人が、つらい思いをするなんて、まさに悲しい現実であるが、獣医師と子供の会話が心に残る。

なお、入賞作品のうち大賞、優秀賞作品を収載した「第23回 日本動物児童文学賞受賞作品集」をご希望の方(1人1冊に限る)は、住所、氏名、電話番号、上記

作品集希望と明記の上、切手390円分(送料)を同封し、下記送付先へお送りください。

〒107-0062

東京都港区南青山1-1-1 新青山ビル西館23階
社団法人 日本獣医師会 事務局

「第23回 日本動物児童文学賞受賞作品集」希望

お問合せ

☎03-3475-1695 FAX03-3475-1697

E-mail : hokankyo@nichiju.or.jp